

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ⑦

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- 2.2ヶ月は要求とかけ離れており、回答書にある「社員への期待」というならば要求満額を出すべきである。追加要求獲得に向け、共に頑張りましょう！
- 2.2ヶ月は低すぎる！役員が2割減に対し、コロナ禍でエッセンシャルワーカーとして頑張っている社員が3割減とは。経営側の社員に対する姿勢が納得いかない！
- 「出せる体力はある」「生活費になっていることを承知している」これまでそれなりの安定支給で社員は生活設計を組んできた。「出せるのに」いきなり年間約1.5ヶ月も減らされた身にもなってほしい。「持ち家・子育て」世代への打撃は計り知れない。何が「社員・家族の幸福を実現」するだ！生活費になっていることを承知しているならば、社員と家族の立場に立ち、この冷酷回答に対し、どうしたらいいかしっかり責任もって教えてほしい！社員軽視もいい加減にしろ！
- 会社の回答に憤りを感じています。このまま2.2ヶ月回答を受け入れません。追加支給の申し入れをすることで、仕事をしっかりしている社員の士気が上がる回答を期待します！
- 2.2ヶ月の回答は、いくらなんでも低すぎる。収益を上げても、将来不安だからと出し渋り、赤字となれば否応なく減額。人件費を減らすことしか考えていない！0.8ヶ月の追加支給、社員の生活のためにぜひ、頑張ってください！
- 私は50代後半ですが、30代～40代の社員は、子供の教育費などに最もお金がかかります。他労組の組合員も2.2ヶ月回答にがっかりしていました。要求実現のために共に頑張りましょう！
- 2.2ヶ月回答は低い！0.8ヶ月分の上乗せ獲得に向け、最後まで頑張るぞ！
- 社員の生活を守るために、モチベーション向上のために、0.8追加要求を応援します！
- 追加支給の申し入れを全面的に支持します！この間現場では、新型コロナの感染やクラスターを発生させないよう細心の注意をしてきました。大規模なクラスターを発生させなかったことは、現場で働く社員の公共交通機関の従事員という自負と責任感でした。社員の生活のため、会社の発展のためにも再考をするべきです！